

スタート
新学期



あすなろ通信

9月
2023年
9月号
September



季節の変わり目です。

健康に気をつけて、フレッシュな気持ちでがんばりましょう。

9月の行事

- 1日(金) 2学期スタート
- 4日(月) カウンセリング
- 5日(火) 外国語活動
- 15日(金) 美術活動
- 20日(水) 理科学習 ※延期

※15日(金)までは午前中活動

暑い日が続く、健康面の心配をしながらの2学期のスタートでしたが、子どもたちは元気です。これからは季節の変わり目、引き続き健康管理をお願いします。



外国語学習



美術活動



【室長コラム】

今我が家に、2歳4か月の幼児が同居しています。一緒に生活するようになって約2か月、その著しい成長ぶりを目の当たりにし、子どもの成長する力のすばらしさに改めて驚かされました。

その幼児を相手に、私はこの夏の研修で愛媛大学の吉松靖文先生から学んだことを実践しようと思いました。2歳は自己主張のスタート期であり、イヤイヤ期に突入します。確かに、うちの2歳児も、自己を主張し、自分の気持ちと合わないことに対しては、イヤイヤで抵抗するようになってきました。吉松先生は、この時期からアドボカシー（権利を守る・権利を行使する）教育が必要であり、その権利を侵害してはならないと言います。自己主張を抑えつけてはならない。その人権侵害によって、二次障がいがある可能性があるともし言います。主張を抑えつけず、きちんと聞いてもらえる環境の中で、安心して自己主張させ、自分の主張を適切に伝える言葉と行動の力を身に付けさせることが大切なのです。そのためには練習が必要であり、まずは、自分にその主張を聞く力が必要です。とは言っても、「聞く」≠「受け入れる」ではありませんから、できる限りはその主張を認めながら、認めることができない場合は、自分の気持ちや認められない理由をきちんと説明し、納得させることが大事である。つまり、丁寧な対話によって、「合意形成」を図ることが必要だと教えられました。

今2歳4か月の幼児を相手に、「合意形成」の実践練習に取り組んでいます。こちらの都合などお構いなしに、「～したい。～したくない。～が欲しい。」など、様々な主張を発します。その主張を強い言葉や力で抑えつけようとする、泣いて、暴れて不快感を示します。我慢や遠慮はありません。ですから、時間と忍耐力が必要ですが、その主張に対して、途中で遮らない、最後まで聞く、すぐに結論を出さないことに努めます。幼くて限界はありますが、できれば理由も聞きます。そして、一緒に考えます。考えた後は、自分の考えや理由を説明します。相手は2歳4か月ですから、できるだけわかりやすい言葉で、ゆっくりと、身振り手振りを交えて説明します。また、固く、怖い表情にならないように、優しく、笑顔で、きちんと目を見て話します。そうすれば、強く自己主張していた時の固い表情が、柔らかい表情に変わり、落ち着いてくるのがわかります。きっと相手と敵対しなくていいことがわかって安心するのでしょう。恐くない、力で押さえつけられない、自分の意見を聞いてくれる、できれば受け入れようとしてくれている、きちんと説明をしてくれる、そんな信頼感が生まれれば、相手の思いや説明を聞く気持ちにもなり、「合意形成」の基盤ができるのだと思います。

この実践で学んだことを生かさなければなりません。小学生や中学生も心は同じです。「合意形成」なく、子どもの主張を言葉や力で抑えつけることは、子どもの心を傷つけ、発達を阻害することになります。自分が無自覚にそんな言動をとらないように、また、子どもたちに無自覚のうちに不当な我慢をさせないように、私たちの注意と努力が必要です。我が家で、もう少しその練習に取り組みます。

「あすなろ教室」

TEL 0897-37-7474

FAX 0897-32-6822

e-mail asunaro@city.niihama.lg.jp

